

# Book Fan Newsletter

発行：平成26年6月15日  
編集：塩尻市立図書館  
0263-53-3365  
(Book Fan Newsletter 24号)

書店員が選んだ

## 今月のおすすめ本



### 『図書館長論の試み』

内野 安彦 / 著 樹村房

「だから図書館めぐりはやめられない」「図書館はラビリンス」に続く3作目で、図書館長の仕事に焦点を絞り全国の関係者に向けて書かれてはいますが、塩尻市の前図書館長としての実践が随所に紹介されており、新図書館の開館準備期間も含め読んでいて身近に感じる内容です。

普段接している図書館をまた違った角度から見つめたくなる1冊です。

(神田堂 大塚さん)



### 『ねずみくんうみへいく』

なかえ よしを / 作 上野 紀子 / 絵 ポプラ社

海へ遊びに行きたくなったねずみくんとねみちゃん。さっそくみんなを誘ってみますが、待っても待ってもなかなか全員揃いません。長い間待たされて、だんだんイライラしてくるねみちゃん。けれどそんな姿もなんだかかわいい！

はたしてねずみくんは無事、海へたどり着くことができるのでしょうか？ 終わりのサプライズが定番のねずみくんシリーズですが、本作もとっても素敵に仕上がっています。

(興文堂 iCITY店 中沢さん)



### 『伝説のエンドーくん』

まはら 三桃 / 著 小学館

市立緑山中学校へ着任したての清水先生が、黒板のすみに偶然見つけた「エンドーくん」の落書き。その後も次々と見つかる落書きは、真新しいものもあれば、40年も前のものもあるという。「エンドーくん」って一体、誰？ 消されないこの落書きが意味するものは？

イマドキの生徒と先生と保護者、そして地域の人々の、クールでありながらも温かい日常が描かれたその先に、伝説の「エンドーくん」の正体がだんだんと浮かび上がってきます。

現役中高生はもちろん、大人のココロにも爽やかに響く本です。

(中島書店 小野さん)



### 『よくわかる長野県の名字』

森岡 浩 / 著 しなのき書房

長野県で一番多い名字を知っていますか？ なんと、2位の田中さんの3倍に近い圧倒的な差をつけて1位だそうです。

ランキングとともにルーツや著名人、分布マップなども掲載されており、読みごたえのある一冊。1位の名字は誰なのか、自分の名字は何位なのか、そのルーツとは…答えはこの本の中にある！

(丸文書店 金子さん)



📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

**神** 田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

**興** 文堂書店 (97-3949)

くおはなし会のご案内>  
月に一度、平田店にて行っています。6月15日(日)・7月13日(日)午後2時から約30分。未就学児向けです♪

**中** 島書店 (54-3968)

ワールドカップフェア  
観戦術や参加選手の紹介本、日本の対戦相手国や南米の文化、地理、歴史本を集めてみました。  
期間6/20~9/19

**丸** 文塩尻書店 (52-5515)

夏のお出かけに。  
「J2ガイド2014」(ベースボール・マガジン社)全22チーム選手名鑑、タウン情報など、サポーター必携。

図書館職員が選んだ

## 今月のおすすめ本



### 『にほんのお福分け歳時記』

広田 千悦子 / 著 主婦の友社

日本の歳時記、縁起ものなどについて書かれています。

嘉祥の日、夏越えの祓え、など耳慣れないものから、七夕、土用といった生活に根付いているものまでかわいいイラスト付きで解説されています。改めて日本の行事を大切にしたい、そして『お福』にもあやかりたい、と思う1冊です。

(大活字本担当 村上)



### 『本屋さんのすべてがわかる本3 見てみよう! 本屋さんの仕事』

秋田 喜代美 / 監修 ミネルヴァ書房

「本屋さんで文庫本を買うとササッとブックカバーをかけてくれるけど、どうやっているの? どうしてなの?」そんな素朴な疑問を解決しつつ本屋さんの魅力にせまる一冊です。

シリーズの中でも3では、本のならべ方の工夫、舞台裏での本の紹介の仕方などが、書店員の仕事をグッと身近に感じる分かりやすい写真で紹介されています。

(児童書担当 三守)



### 『ポッダとポッディ』

シビル・ウェッタシンハ / 著 福音館書店

あるところに、ポッダとポッディという貧乏な夫婦が住んでいました。だんなさんのポッダはのんびりや。おかみさんのポッディはせっかちでした。あるとき、食べるものが底をつき、ポッダに頼まれたポッディが10ルピーで食べものを買いにいきますが、なんと、種にするための玉ねぎを買ってきてしまい…。表情や風景をじっくり見たくなる絵本です。

(児童書担当 浦野)



### 『天性の小説家 ジャン・ジオノ『木を植えた男』を書いた男』

山本 省 / 著 彩流社

ジャン・ジオノは自身の生まれたフランス南部プロヴァンス地方のマノスクに終生とどまり、この地方の自然や住民を題材に数々の作品を生み出しました。

この本では、著者の十数年来の研究により、ジオノの知られざる一面に触れることができます。代表作の『木を植えた男』はフィクションですが、創作だからこそ、生きる意味を得て生き抜いた、魅力的な一人の人間が生み出されたのだと思います。ぜひ2冊あわせてお楽しみください。

(外国文学担当 北島)



### 『フットボール de 国歌大合唱!』

いとうやまね / 著 東邦出版

各国の国歌が、その国のサッカー事情も交えながら親しみやすく解説されています。

サッカーワールドカップブラジル大会も開幕し、テレビ中継などで国歌を聴くことができるこの機会に、大会をより楽しめる1冊です。本館で行っているワールドカップのテーマブックスでもとりあげていますので、ぜひ手に取ってみてください。

(芸術分野担当 鳴海)



#### 7月の「本の寺子屋」

7月20日(日)に、小屋 BOOKS 店主の松井祐輔さんをお招きし、講演会「本とまちづくり」を開催します。ぜひお越しください。

#### 開館時間変更のお知らせ

7月26日(土)は、玄蕃まつりのため、図書館本館は午後6時で閉館させていただきます。

#### Facebookで情報発信中!



左のバーコードを読み取りアクセスしていただけます。